

1. 基本理念 = キラキラかがやくひとみ =

- ・利用者の方々にあふれる笑顔で対応し、
キラキラかがやくひとみになれるサービスを提供します。
- ・地域とより良い関係を築き、
キラキラかがやくひとみであふれる地域づくりに貢献します。
- ・全ての職員が仕事にやりがいを感じ、向上心を持ち、
キラキラかがやくひとみで働ける法人であり続けます。



2. 中期計画 (令和5年度～令和7年度)

基本理念に基づいて法人の方針・目標・方策を掲げ、中期計画を策定しています。

方針	信頼される	地域に根ざす	組織力のある
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスを基本とし、福祉の心をもって継続的かつ安定した法人経営を行います ・利用者の人権を尊重し、最善の処遇に務めます 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と共に歩み、地域に必要とされる法人を目指します ・地域社会のニーズを的確にとらえ、積極的な社会貢献を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての職員が宮崎福祉会の一員であることを自覚し、お互いを認め合い信頼しあえる法人を目指します ・常に向上心をもち、個々の能力を発揮できる活気あふれる職場づくりを目指します
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者としての役割遂行 ・コンプライアンスの徹底 ・組織統治の強化 ・健全で安定的な財務基盤の確立 ・人権の尊重 ・サービスの質の向上 ・安心安全の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の推進 ・信頼と協力を得るための積極的なPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の採用に向けた取り組みの強化 ・中長期的な人材戦略の構築 ・人材の定着に向けて取り組みの強化 ・人材の育成に向けた取り組みの強化
SDGs			

3. 事業計画

中期計画に基づき、法人共通の重点課題及び各施設ごとの重点課題を掲げ、課題を解決するための具体的な取り組みを令和5年度事業として計画し、事業実施に努めます。

< 本 部 >

方 針

方針	重点課題	具体的取り組み
信頼される法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人としてのミッションとビジョンに基き地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために事業の多角化・多機能化を図るための準備をします 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. 経営者が遵守すべき法令、社会的ルール、社会福祉関係・労務関連・虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、遵守の重要性を普及・啓発します 4. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 5. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 6. 虐待、身体拘束などを決して容認せず、根絶するための取り組みを行います 7. 業務マニュアルや、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 8. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するための取り組み及び職員に対するコスト意識を醸成する取り組みを行います 9. 内部統制システムの整備・運用し、見直しと改善を行います 10. 会計専門家による適切な会計処理のチェックを受ける機会を設けていきます
地域に根ざす法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域を活性化する取り組み ・ 地域から信頼される情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できる取り組みを行います 3. 地域における公益的取り組み等を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 4. 地域の行事に参加し、地域活性化を意図した取組みを推進します 5. ソーシャルネットワークサービス(SNS)等の普及を踏まえ、職員や利用者等の関係者に対し、適切な情報管理に関する注意喚起や教育を実施します 6. 法人事業の安定的かつ発展的な継続に必要な事業計画や資金計画を立案し、積極的な情報発信を行います
組織力のある法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な採用ツールを用意し、効果を検証しながら採用活動を実施します 2. 職員の間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、風土づくりに取り組みます 3. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるよう取り組みます 4. 採用後3年未満の職員に対するフォローアップを意図的、計画的に行うため体制を整えます 5. ハラスメント関係規程の職員への周知・教育の実施、及び相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 6. 研修体制の整備等を行い、人材育成の指導内容や方法等を共通基準で意図的・計画的に実施します 7. 職員の研修・リーダー層の財務管理能力の教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 8. 目指すリーダー像を明確に示し、指導的職員・リーダー層の育成を図ります 9. 労働災害防止策を講じ、その内容を職員へ周知します 10. 業務効率化のための環境整備(ICT等の活用)を図ります 11. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います

行事予定

月	法人行事	月	地域行事等
4月	法人内研修(新人職員)、新人正規職員研修	4月	
5月	管理監督者研修	5月	
6月	法人内監査、理事会、評議員会、理事会、事務研修会	6月	就職フェア参加
7月	全体研修会	7月	市民総踊りへの参加
8月	第三者委員会	8月	福祉の仕事就職面接・説明会参加
9月		9月	
10月		10月	住吉ふくしまつり 宮崎福祉会「みんなのひろば」参加
11月	理事会、シェイクアウト(災害時法人合同訓練実施)	11月	
12月	法人内期中監査	12月	
1月	人事ヒアリング	1月	
2月	理事会、第三者委員会	2月	
3月	新規採用者説明会、理事会、退職辞令交付式、辞令交付式	3月	福祉の仕事就職面接・説明会参加
月例	施設長会(奇数月)、施設長勉強会	月例	
随時	制度委員会・研修委員会・広報委員会(施設長)・財務関係勉強会(職務毎)・主任勉強会 イベント企画委員打合会・広報担当者打合会・BCP策定委員会(職員)・法人経営継続勉強会 メンタルケア、各種法人内研修、全体研修会、内定者説明会	随時	就職説明会等への参加、学生向け施設見学、法人情報誌の配布、学生ボランティアの活用

役職員に関する事項

月例	職員会議、ノー残業デーの実施
随時	法人内外研修会参加、法人内イベント参加、法人内各施設の行事参加、全国社会福祉法人経営青年会会議等への参加、職員健康診断、職員旅行、職員との面談

施設整備

- ・ パソコン購入
- ・ プリンター購入
- ・ タブレット購入

＜ 中 央 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重 点 課 題	具 体 的 取 り 組 み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤を確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国や地域の将来を考慮し、社会福祉法人としてのミッションとビジョンに基づいて事業の将来性・継続性を見通した経営に努めます 2. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 3. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 4. 研修に積極的に参加する等経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 5. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 6. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルールの遵守の重要性を普及・啓発を行います 7. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 8. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 9. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスの提供を継続します 10. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 11. 業務マニュアルの整備や、可能な物の業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 12. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます 13. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 14. 適切な収益性の確保に向け、将来を見通した計画的かつ効率的な事業運営を行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域から信頼される情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 生活困窮者支援に取り組む事を責務とする職員の意識向上や理解を目的とした園内外の研修に参加します 3. 地域の教会や自治会等と協力・情報共有していきます 4. 地域における公益的取り組み等を整理し、地域のニーズをマッチしているか確認します 5. 地域の子育て世代や高齢者等、地域住民が交流する場を積極的に提供します 6. 福祉サービスを提供する施設として近隣住民の理解・協力が得られるよう日常的なコミュニケーションを図ります 7. 子ども（不登校気味など）が安心して過ごせるような居場所や環境を作り、みんなで支えます 8. 災害時における備蓄品を確保し、情報を地域住民にも明確に周知します 9. 災害時に地域への提供が可能な物資等（AED設置・井戸水等）情報など、安心・安全の取り組みを発信します 10. 子育て支援等の情報を積極的に発信します
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していく為の組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取り組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 3. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるように取り組みます 4. 新任職員や実習生を丁寧にフォローし、やり甲斐や楽しさが感じられるように職場環境を整えます 5. ハラスメント関係規程を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 6. ワークライフバランス（仕事と生活の両立）に配慮した取り組みを行います 7. コミュニケーションの取りやすい環境を整え、悩みや困難を相談できる雰囲気作りに努めます 8. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 9. 高い専門性と倫理性を醸成していく為に園内外の研修に積極的に参加します 10. 管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視し、育成に取り組みます

行事予定

月	中央保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式 個人面談(1年間の長期計画として実施)	4月	
5月	ふれあい運動ひろば・交通安全教室	5月	
6月	保育の様子を発信する。	6月	
7月	プール開き、ちびっこ夏まつり	7月	ちびっこ夏まつり(小学生・地域の方々との交流)
8月	プール納め	8月	
9月	敬老交流会	9月	敬老交流会(地域の高齢者の方々との交流)、山形屋敬老イベント参加・ケアハウスシャトル交流・5歳児
10月	ひかり輝け楽しい発表会	10月	赤い羽根共同募金活動(5歳児)
11月	なかよしふれあい遠足(3歳・4歳・5歳児)	11月	
12月	クリスマス会、キッズキッチン(5歳児)、お餅つき	12月	中央西地区福祉祭り参加 歳末助け合い募金活動(5歳児) 餅つき交流
1月	冬のウォーキング(3・4・5歳児)、お正月遊び週間(祖父母交流) 保育参加week(未満児)	1月	
2月	保育参加week(以上児)、コスモランド教室(5歳児)、豆まき、2歳児面談・就学前交通安全教室	2月	バレンタインコンサート(地域交流) ・鬼太鼓交流
3月	お別れ遠足、お別れ会、卒園式『お祝いのつどい』・修了式	3月	地域公園ゴミ拾い
月例	お弁当の日、発育測定、お誕生会、英語で遊ぼう、防災・防犯訓練、お歌で遊ぼう(3・4・5歳児) 和太鼓(4・5歳児)・スポーツ教室(3・4・5歳児)・スイミング教室(4・5歳児希望者)	月例	子育て支援こもれび広場(第1・3火曜日)・園庭解放(第2・4火曜日)
随時	園外保育、健康診断(年2回)、蟻虫検査(年1回)、尿検査(年1回)、歯牙健診(年1回) 文字あそび(5歳)、消防点検・衛生害虫駆除、クッキング	随時	園庭開放、一時預かり保育、学童保育 体験学習(中学生・高校生)・ボランティア・実習生受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、保育会議、給食会議、腸内菌検査、園舎内外の安全点検
随時	園内研修(年10回)、研修報告会、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、地域ごみ拾いボランティア、職員健康診断、職員旅行

利用定員

170 人	内訳	2号定員(3～5歳)	98 人	3号定員(1.2歳)	65 人	3号定員(0歳)	7 人
-------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間

標準時間	午前7時00分 ～ 午後6時00分 (11時間)	延長保育時間	午後6時～8時
保育短時間	午前8時00分 ～ 午後4時00分 (8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業

・延長保育事業(午後6時～午後8時) ・一時預かり保育事業 ・障がい児保育 ・育児相談 ・学童保育

施設整備

・園内修繕 ・保存食購入 ・床面ワックス塗布 ・外灯設置 ・リフト設置 ・食器洗浄機購入 ・水道漏水調査

＜高千穂乳児保育園＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために、未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直します 3. 今後の保育園運営に沿った安心・安全な園舎内外の設備環境の整備を行います 4. 研修に積極的に参加するなど経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 5. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 6. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 7. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取組みを行います 8. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 9. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組めます 10. 職員に対してコストの意識を醸成するための取組みを行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取組み ・ 地域の安全・安心への取組み ・ 地域の信頼と協力を得られるような機能の活用 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 支援が必要なケースに対して関係機関と連携し取組みを進めます 3. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取組みます 4. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 5. 災害時、緊急時の避難場所とし、安全・安心な生活の場の確保、備えに取り組めます 6. 嘱託医や医療機関と連携を取りながら子どもの健やかな育ちを推進します 7. 地域児童福祉部会での意見交換、研修等に積極的に参加し、情報発信・連携・協力を図ります 8. 地域の行事・子育て支援・小学校参観時の預かり保育等に積極的に協力します
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 3. 新任職員への丁寧なフォローや能力を發揮できる機会や取組みを行います 4. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取組みを行います 5. 休憩時間の体制づくりをより工夫し取組みます 6. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 7. 様々な能力を活かせる職場づくりに取り組めます 8. 新任研修をプログラムに沿って計画的に行うとともに、全職員の学び・振り返りの機会として充実を図ります 9. 管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視し取組みます 10. 業務効率化のための環境整備(ICTの活用)を図ります 11. 設備・備品の最適な活用法に関する計画を立て、改善、見直しをします

行事予定

月	高千穂乳児保育園行事	月	地域行事等
4月	入園、進級おめでとう会	4月	江平小学校の参観時預かり保育、中央東児童福祉部会会合
5月	内科健診	5月	宮崎小学校の参観時預かり保育
6月	尿検査、歯科検診、洪水訓練	6月	宮崎東中職場体験学習受け入れ
7月	プール開き	7月	中央東児童福祉部会会合
8月	防災通報訓練・消火訓練	8月	
9月		9月	
10月	おじいちゃん・おばあちゃんとの交流会(2歳児)、ふれあい運動広場(親子)	10月	中央東児童福祉部会会合
11月	保育参加ウィーク(1, 2歳児)、内科健診、保育参加日(0歳児)	11月	中央東ふれあいまつり参加、江平小・宮崎小の参観時預かり保育
12月	クリスマス会	12月	中央東児童福祉部会子育て支援
1月		1月	江平小・宮崎小学校の参観時預かり保育、中央東地区研修会
2月	豆まき・防災通報訓練・運動あそび参加日(1, 2歳児)	2月	
3月	ひな祭り会、卒園お別れ会、修了おめでとう会、新年度説明会	3月	中央東児童福祉部会会合
月例	体育あそび教室(月4回)、防災訓練、誕生会	月例	福祉施設に資源物提供(月4回)、行政相談(月1回) 地域交流室提供(感染症状況により不可有)
随時	園外保育、防犯訓練、個別面談	随時	江平小・宮崎小学校の参観時預かり保育(年5回) 児童福祉部会(年5回) ボランティア・実習生受け入れ、子育てサロン参加、リサイクル活動

職員に関する事項

月例	職員会、クラス検討会、給食検討会、遊具・園内外の安全点検、腸内細菌検査、防災備品点検、園舎内外の防除殺菌
随時	研修報告会、職員健康診断、職員旅行、法人内イベント参加、園内・法人内外(リモート含)研修参加、園周辺ごみ拾い、感染対策消毒・除菌、玩具消毒

利用定員

50 人

内訳	3号定員(1.2歳)	35 人	3号定員(0歳)	15 人
----	------------	------	----------	------

保育時間

標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
保育短時間	午前8時30分～午後4時30分(8時間)	延長保育時間	午後4時30分～5時30分

地域子ども・子育て支援事業

- ・ 延長保育事業
- ・ 育児相談事業
- ・ 障がい児保育事業
- ・ 一時預かり保育事業

施設整備

- ・ 園舎内外施設整備
- ・ 階段入口扉設置(2F)

＜天神の森きらら保育園＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育を充実 ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統一した虐待に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 2. 統一した感染症等に関するマニュアル等を作成し、全職員に周知・教育し運用します 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い全職員に周知・教育し運用します 4. 公益通報相談窓口、法令違反行為等に関する相談や通報の適正な処理の仕組みを周知し、不正行為の早期発見とその是正措置を行います 5. 倫理綱領を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 7. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 8. 内部統制システムの整備・運用を行い、公認会計士による助言・見直しを行います 9. 職員がコストを意識して働けるよう取り組みます
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設機能の活用 ・ 地域を活性化する取り組み ・ 地域から信頼される情報発信 ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ ボランティアの育成と活動支援 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎大好き活動を行い、地域・文化・伝統を知り共に育つ心を、職員・子ども・保護者に発信する 2. 自治会に加入し地域交流を行う。 3. 天神山の清掃(月1回ちびっこ天神山守り隊活動)、定期的な花育活動と共に地域交流を行う 4. 地域にある施設との交流をします(施設訪問・宮崎天満宮・妙経寺等) 5. ホームページ等で園の取り組みや子育て情報など地域発信に努めます 6. 災害時など地域の避難所として開放し、食料備蓄を行います 7. 小学校・中学校・高校生との交流を行い共に育つ生きる力を育む活動を行う 8. 園庭開放デーを設け保護者支援に努めます 9. 公民館に法人情報誌等置いてもらい、周知・理解をすすめます。
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の健康と安全を確保 ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 人材育成制度を構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います 2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組みます 3. 働きやすい環境づくり、相談しやすい雰囲気づくりに努めます 4. ボランティア・実習生むけのマニュアルを作成し基本姿勢を明文化していきます 5. 積極的な情報発信に努め福祉の仕事啓発に努めます 6. 短時間労働や業務の限定など、雇用時間や形態を工夫し多様な働き方ができるように対応していきます 7. 職員が将来の姿を描くことが出来るような仕組み作りに取り組みます 8. 管理職・リーダー層の研修に積極的に参加します 9. 休憩時間を確保できるよう、皆で声を掛け合い工夫し取り組みます

行事予定

月	天神の森きらら保育園 行事	月	地域行事等
4月	歓迎・親子遠足、桜ランチ(天神山)	4月	花まつり参加(妙経寺)
5月	こいのぼり運動会、健康診断	5月	
6月	保育参観、歯科検診、花育	6月	天神山花植え(大淀まちづくり委員会)
7月	プール開き、夕やけ祭り	7月	宮崎天満宮夏まつり
8月	プール納め、夏の食育	8月	水かけ地蔵まつり参加
9月	十五夜さま、総合防災訓練、敬老会	9月	
10月	運動会、交通安全教室、健康診断、青島の旅	10月	
11月	七五三参拝、いも掘り、職場訪問、空港探検	11月	天神山花植え(大淀まちづくり委員会)
12月	餅つき、クリスマス会、参観日作品展、街探検	12月	竹灯籠作り(大淀まちづくり委員会)
1月	お正月あそび	1月	お正月詣り(妙経寺・天満宮)、大淀小1年生との交流会
2月	豆まき、海幸・山幸、春祭り(発表会)	2月	
3月	ひな祭り、お別れ遠足、お別れパーティー、卒園・修了式、就学前指導	3月	
月例	誕生会、避難訓練、身体計測、弁当の日、スポーツ教室(2～5歳児) 英語遊び(4, 5歳児)・硬筆教室(年長組1月～3月)スイミング教室(3～5歳児希望者)	月例	
随時	園外保育、クッキング保育、健康診断、歯科検診、尿検査、プランター菜園 絵本貸出、園舎内外消毒・砂場消毒業者委託 実習生受入れ(宮崎医療管理専門学校・宮崎学園短期大学・九州保健福祉大学等)	随時	施設訪問(ほのぼの天満)、幼児体験学習受入(大淀中学生) 工業高校家庭クラブ受け入れ、 ボランティア受入れ・家庭科2年授業受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、給食検討会、腸内菌検査、遊具・園舎内外安全点検、天神山清掃(第3水曜日)
随時	研修報告会、絵本紹介(読み聞かせ)、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、天神山ごみ拾い、職員健康診断、職員旅行 防犯訓練(不審者対策訓練)

利用定員

70 人

内訳

2号定員(3～5歳)

44 人

3号定員(1.2歳)

20 人

3号定員(0歳)

6 人

保育時間

標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～6時

地域子ども・子育て支援事業

・延長保育事業

・一時預かり保育事業

・障がい児保育事業

・学童保育事業(自主)

・育児相談

施設整備

・プール修繕塗り替え

＜ 波 島 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国や地域の将来を考慮し、社会福祉法人としてのミッションとビジョンに基づいて事業の将来性・継続性を見通した経営に務めます 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. 研修に積極的に参加するなど経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 4. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 7. 虐待などを容認せず、根絶するための取り組みを行います。 8. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 9. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化を図り全職員に周知・教育し運用します 10. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます 11. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域を活性化する取り組み ・ 地域の多様な援助ニーズの把握と困難事例への取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取り組みます 3. 地域における公益的取り組み等を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 4. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 5. 朝夕の交通渋滞回避をするための取り組みを行い地域と連絡、共有し安全に努めます。 6. 地域で行われる行事や活動に参加して交流を深めます。 7. 障害児の受け入れや、課題の多い家族のいる利用者の受け入れ等、他法人との連携を通じて援助を行います。 8. 虐待・貧困や利用者のDV問題等、見聞きした場合は県警機関や通報相談を行います
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け関連する取り組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 3. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるよう取り組みます 4. ハラスメント関係規程を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口関係者の教育を行いながら防止策を講じます 5. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います。 6. 時間外労働の管理、有給休暇の取得を適切に行います 7. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 8. 職員各自の研修受講履歴を管理し個別研修計画を作成します 9. 目指すリーダー像を明確に示し育成します 10. 管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視し、育成に取り組みます。 11. リーダー研修の実施やマネジメント、コーチングに関する外部研修の受講を行います 12. 業務効率化のための環境整備(ICT等の活用)を図ります 13. 業務の内容・流れを見直し、役割分担し、協力体制づくりに取り組みます。

行事予定

月	波島保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園・進級おめでとう遠足 お花見会	4月	
5月	交通指導、お花見ハイキング、園児健康診断	5月	
6月	家族ふれあい運動会、保育参加週間、歯牙検診	6月	幼年消防活動(ごみ拾い)
7月	砂の造形あそび	7月	
8月	ちびっこ夏祭り	8月	波島地区夏まつり
9月	総合防災訓練 DAYキャンプ	9月	波島地区敬老会
10月	親子遠足、青島探検、園児健康診断	10月	
11月	生活発表会 みかん狩り	11月	コミセン祭り、皇寿園訪問
12月	クリスマス会	12月	幼年消防活動(ごみ拾い)
1月	保育参加週間	1月	
2月	豆まき、お花見ハイキング	2月	小学校訪問(小学5年生との交流会)、幼年消防ふれあい広場
3月	ひなまつり会、卒園・修了式、お別れ会、お別れ遠足	3月	
月例	誕生会、弁当の日、発育測定、防災訓練 体育遊び、英語で遊ぼう、和太鼓、スイミング、フッ素洗口(月～金)	月例	園庭開放(火曜日)
随時	食育活動(簡単クッキング)、ペットボトルキャップリサイクル活動、幼年消防クラブ活動 健康診断(年2回)・歯科検診(年1回)・尿検査・絵本貸出し	随時	実習生受入れ・ボランティア受入れ、中学生職場体験学習受入れ

職員に関する事項

月例	職員会、園内研修、腸内細菌検査、園舎内外の安全点検
随時	保育環境講座研修参加、絵本講座研修参加、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、地域のゴミ拾い

利用定員	100 人	内訳	2号定員(3～5歳)	56 人	3号定員(1.2歳)	41 人	3号定員(0歳)	3 人
------	-------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分 (11時間)	延長保育時間	午後6時00分～8時00分
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分 (8時間)	延長保育時間	午後4時00分～5時00分

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育事業 ・一時預かり保育事業 ・休日保育事業 ・障がい児保育事業 ・学童保育事業

施設整備 ・園舎建て替え

＜ 住吉中央保育園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国や地域の将来を考慮し、社会福祉法人としてのミッションとビジョンに基づいて事業の将来性・継続性を見通した経営に務めます 2. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 3. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 4. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 5. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関係法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルール遵守の重要性を普及・啓発を行います 6. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 7. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 8. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 9. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます 10. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 11. 適切な収益性の確保に向け、将来を見通した計画的かつ効率的な事業運営を行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域を活性化する取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 生活困窮者支援へ向けた職員の意識向上・理解を目的とした、園内外の研修へ積極的に参加します 3. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取り組みます 4. 地域における公益的取り組み等を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 5. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 6. 災害派遣福祉チーム(DWAT)への登録・育成を行います 7. 園・法人の様々な取り組み(セーフティーネット・おたすけハウス・赤ちゃん駅・AED設置・ぴかぴか住吉活動等)園の様子を発信し回覧板やHPの他にPR方法を広げ周知を図ります 8. 地域のイベントや取り組みに積極的に参加し活性化を図ります 9. 子育て支援“にこにこ広場”や園庭開放を充実させ、児童館とも連携して広く地域の子育て支援に取り組みます
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取り組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に務めます 3. 多様な職種、勤務形態の職員が交互に連携を図れるよう取り組みます 4. 職員を大切にし、働きがいのある、魅力ある職場づくりを更に進めます 5. ハラスメント関係規程を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 6. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います 7. 誰もが年休取得しやすい職場環境づくり、無理のない働き方を“おたがいさま”の心で更に充実させ、取り組んでいきます 8. 職員向けの体操やストレッチを行う時間を確保し職員の健康維持事故防止に取り組みます 9. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 10. 人材育成担当職員を中心にリーダー職員が課題を共有しながら園全体で人材育成に取り組む姿勢を構築します 11. 目指すリーダー像を明確に示し育成します 12. 主任・副主任が連携し、主体的・自立(自律)的なリーダーの育成を目指します 13. 業務効率化のための環境整備(ICT等の活用)を図ります 14. 行事や内容を見直し、業務の効率化を図ります

行事予定

月		月	地域行事等
4月	入園・進級式、春と遊ぼう(白山神社)・こいのぼり運動会	4月	
5月	園児健康診断、さあ出かけよう！(市民の森花しょうぶ・春のフローランテ)	5月	こいのぼり運動会(子育て支援交流)
6月	大淀川学習館探検、歯牙検診	6月	
7月	プール開き、夕涼み会、コスモランド教室	7月	七夕交流(住之江荘) ・ちびっこ夏祭り(卒園児招待)
8月	保育参加日 ※6月～9月の希望日参観	8月	小・中学生保育体験交流会(職員の子供) ・住吉夏祭り参加
9月	総合防災訓練、お月見、歩こう会(萩の台)	9月	総合防災訓練(地域・児童館) ・介護施設レインボー訪問
10月	にこにこ運動会、青島探検、秋のフローランテ	10月	住吉福祉まつり参加
11月	芋掘り、交通指導、親子遠足、みかん狩り	11月	住吉地区文化祭参加
12月	わくわくドキドキ発表会、焼いもパーティー	12月	もちつき(地域交流) ・海幸山幸に乗って(姉妹園交流)
1月	お正月あそび	1月	観劇会交流(姉妹園) ・地域子育て親子)
2月	春を探しに(市民の森梅園) ・空港探索	2月	豆まき交流(地域・さくら祖父母)
3月	ひな祭り、お別れパーティー、卒園・修了式、ゆっくり歩こう会(動物園・西都原)	3月	
月例	誕生会、防災訓練、身体計測、お弁当の日、ノーマディアデイ(第3水曜日) スイミング(4・5歳児)、えいごであそぼう(3・4・5歳児)、スポーツ教室(3・4・5歳児)	月例	遊びにいらっしやい！にこにこ広場(子育て支援)第2・4月曜日 園庭開放(月・水・土) ぴかぴか住吉活動
随時	園外保育、保護者会役員会、ママ楽カラ弁の日、砂場・植木・園舎内消毒 フッ化物洗口、エコ活動(ペットボトルキャップリサイクル活動) 食育活動(クッキング他)	随時	ボランティア受入れ・実習生受入れ ・地域回覧板 ”保育園からこんにちは”発行 子育て支援(公民館へ出前保育)

職員に関する事項

月例	全体職員会、リーダー会(月曜日)、各クラス話し合い(金曜日)、腸内菌検査、園舎内外の安全点検
随時	研修報告会、自主研修、園内外研修参加、法人内研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、地域のゴミ拾い(ぴかぴか住吉) <保育園イベント活動> リフレッシュヨガ体験 お花見歓迎会、夏バテ解消バーベキュー、クリスマス忘年会、福をよぶ豆まき大会、卒園・修了懇親会 <働き方改革をすすめる活動> 副主任・専門リーダーを中心に

利用定員

70 人

内訳

2号定員(3～5歳)

43 人

3号定員(1.2歳)

22 人

3号定員(0歳)

5 人

保育時間

標準時間	午前7時00分～午後6時00分 (11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
保育短時間	午前8時00分～午後4時00分 (8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業

・延長保育事業 ・一時保育事業 ・育児相談 ・学童保育 ・子育て支援にこにこ広場

施設整備

・園舎内外各所修繕・補修 ・防犯カメラ設置

＜ 広 原 保 育 園 ＞

方針に沿った取り組み

方針	重 点 課 題	具 体 的 取 り 組 み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. 利用者目線で気持ちを組み取ったサービスの自己点検や法人・施設の強み弱みの把握などの内部環境の分析に努めます 4. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 7. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 8. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 9. サービス提供の標準マニュアル(業務の手順)を策定し、職員に周知するとともに、定期的に見直しもを行います 10. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用に関する必要な知識を有するよう努めます 11. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 12. 内部統制や事務処理体制の向上に努めます
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域の困難事例への取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内でセーフティネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 生活困窮者支援に取り組むことを責務として認識し、法人・施設が持つノウハウや専門性を発揮し、創意工夫を凝らした取り組みを進めます 3. 住み慣れた地域で生活が継続できる様、福祉サービスの多角化・外機能化に取り組みます 4. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取り組みます 5. 地域における公益的取り組み等を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 6. 法人独自で、地域の社会福祉援助ニーズに対する公益的な取り組みを行います(見守り等) 7. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 8. 災害支援等、行政との適切な連携のもと、災害時における協定を締結します 9. 災害時において地域住民が直面する生活課題・福祉課題への対応を想定した体制を平時から構築します 10. 保育所における障害児の受け入れや、入所施設における課題の多い家族のいる利用者の受け入れなど、経営する社会福祉事業において、困難事例に積極的に取り組みます
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取り組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます。 3. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるよう取り組みます 4. 積極的なPRをして「見える化・見せる化」に努め、法人のブランド力を高めます 5. ハラスメント関係規程を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 6. 労働災害防止策(メンタルヘルス・腰痛防止策・その他労働災害への対応)を講じ、その内容を職員に周知します 7. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 8. 様々な能力を生かせる職場づくりに取り組みます 9. 法人の経営理念や期待する職員像を明示し、目標等に基づいた人材育成に関する方針を明確にし、研修を一元的に推進する体制の整備等、その方法を確立します 10. 目指すリーダー像を明確に示し育成します 11. 管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視し、育成に取り組みます 12. 人材育成力の強化のためのシステムを構築します(リーダー研修・マネジメント研修・コーチング導入等) 13. 業務効率化のための環境整備(ICT等の活用)を図ります 14. 生産性向上を図るための課題認識を職員と共有し取り組みを行います(休憩時間の確保・業務内容や流れの見直し等)

行事予定

月	広原保育園行事	月	地域行事等
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	入園・進級おめでとう遠足、交通安全指導 芋の苗植え(4・5歳児)、面談 保育参観日 プール開き、星の子祭り プール納め、夏のお楽しみ会 防災訓練 ふれあい運動会、芋掘り みかん狩り遠足(4・5歳児)、七五三詣り(廣原神社) 楽しい発表会、もちつき会、クリスマス会、大淀川園児教室(5歳児)、招待お茶会 凧揚げ会、総合防災訓練、保育参観週間、キッズキッチン(5歳児)、コスモランド教室(4・5歳児) 豆まき会、記念撮影、お別れ遠足、思い出の旅 ひなまつり会、卒園お茶会(5歳児)、お別れ会、卒園式、修了式	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	こいのぼり交流会(祖父母交流)、こいのぼり運動会(いこいの家) 青島の旅(姉妹園交流) さくらの夕べ(1年生交流) 敬老会(いこいの家) 廣原神社例大祭参加、住吉地区総合文化祭参加 海幸山幸号の旅(姉妹園交流) 新春交流会(いこいの家) 日章学園との合同避難訓練、小学校見学(住吉小学校)
月例	お誕生会、防災訓練、お弁当の日、身体計測、お茶会(5歳児)…月1回 英語で遊ぼう(2・3・4・5歳児)…月2回、お歌で遊ぼう(3・4・5歳児)…月2回 体育遊び(2・3・4・5歳児)…月4回、スイミング(3・4・5歳児希望者)…月2回 お絵かきの日(2・3・4・5歳児)…月1回、文字のおけいこ(5歳児)…3ヶ月間(8回) 竹太鼓・獅子舞の日(5歳児)…月2回	月例	
随時	園外保育、クッキング教室、健康診断(年2回)、歯科検診(年1回) 尿検査(年1回)、絵本貸出	随時	ボランティア・実習生受け入れ 施設訪問

職員に関する事項

月例	職員会、給食検討会、腸内菌検査、遊具安全点検、お茶会参加
随時	職員健康診断、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、園内研修参加、各種研修参加、職員旅行、職員親睦会 地区祭り文化祭打合せ会参加、地域ゴミ拾いボランティア、個人面談

利用定員 60 人 内訳 2号定員(3～5歳) 38 人 3号定員(1.2歳) 16 人 3号定員(0歳) 6 人

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分 (11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分 (8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

施設整備 ・多目的ひな段購入 ・太鼓購入 ・ポータブル台購入 ・園内修繕整備

＜ 住 吉 東 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 2. 研修に積極的に参加するなど経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 4. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法令等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルールの遵守の重要性を普及・啓発を行います 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 7. 虐待・身体的拘束など決して容認せず、根絶するための取り組みを行います 8. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 9. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 10. 現状の課題把握、見直し等随時行います 11. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます 12. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域を活性化する取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 地域における交易的取組を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 3. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 4. 防災散歩を行いながら園近隣の防災マップを作成し、安全対策に取り組みます 5. 災害時の取り組みとしての地域の避難場所の確保や、備蓄食の充実の取り組みを行います 6. 地域のごみ拾いを継続して行います 7. 地域の行事に参加し、地域とのつながりや活性化に貢献します 9. 保育園入り口に花を植栽し地域の方に季節を感じてもらい、言葉を交わしコミュニケーションを図ります
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 2. 多様な職種、勤務体制の職員が相互に連携を図れるよう取り組みます 3. ボランティア、実習生の受け入れを積極的に行います 4. ハラスメント関係規定を整備し、職員への・教育の実施・相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 5. 休憩時間を確保できるよう、皆で話し合い工夫し取り組みます 6. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 7. 様々な能力を生かせる職場づくりに取り組みます 8. キャリアアップ研修受講を継続し、保育士としての専門性の向上に取り組みます 9. 目指すリーダー像を明確に示し育成します 10. 業務効率化のための環境整備 (ICT等の活用) を図ります 11. 現在の業務内容、流れを見直し協力体制づくりに取り組みます 12. 優先順位の明確化を行い共通理解に努めます

行事予定

月	住吉東保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園 進級おめでとう会、すくすくtime(個人面談)	4月	
5月	親子遠足	5月	青島めぐり旅(姉妹園交流)
6月	親子ふれあい参観日	6月	
7月	プール開き、夏のおたのしみ会、	7月	七夕交流(コーポ住吉荘)、
8月	夏の遊び、ソーメン流し	8月	
9月	祖父母交流会、十五夜、交通安全教室、	9月	敬老交流会(すみよし)
10月	ひがしっこ運動会、空港探検	10月	芋掘り交流(すみよし)
11月	七五三詣り、シェイクアウト訓練、キッズキッチン	11月	地区文化祭、すみよし感謝祭
12月	みんなの発表会、クリスマス会	12月	餅つき交流(すみよし) 海幸山幸列車の旅(姉妹園交流)
1月	正月あそび、伝承遊び、保育参加週間	1月	
2月	豆まき、小学校訪問、コスモランド教室	2月	住吉例大祭(和太鼓)、豆まき交流(すみよし)
3月	ひなまつり会、お別れ会、お別れ遠足、卒園・修了式	3月	ひな祭交流(コーポ住吉荘)
月例	誕生会、防災訓練、身体測定、お弁当の日、和太鼓(4・5歳児)、英語(3・4・5歳児) スポーツ教室(2・3・4・5歳児)、読み聞かせ、スイミング(4・5歳児希望者)、食育活動	月例	地域・老人ホームとの交流、育児支援、地域子育てサロン保育
随時	健康診断(年2回)、尿検査、歯牙健診、園外保育、エコ活動、絵本貸出 食育(野菜づくり)、フッ化物洗口、硬筆指導、クッキング(春・夏・秋・冬)	随時	育児支援(地域活動)、地域支援、宮崎大好き活動(散策・観光地めぐり) ボランティア・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、給食会議、リーダー会、遊具・園内安全点検、職員腸内細菌検査、アレルギー会議
随時	職員健康診断、園内研修参加、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、職員旅行、自主研修

利用定員

100 人	内訳	2号定員(3～5歳)	63 人	3号定員(1.2歳)	30 人	3号定員(0歳)	7 人
-------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間

標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業

- ・ 延長保育事業
- ・ 一時預かり保育事業
- ・ 障がい児保育事業
- ・ 育児相談事業

施設整備

- ・ 園内外各所修繕整備
- ・ LED取替工事
- ・ カーテン取り付け
- ・ キュービクル壁面塗装

＜ 富 吉 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重 点 課 題	具 体 的 取 り 組 み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国や地域の将来を考慮し、社会福祉法人としてのミッションとビジョンの基づいて事業の将来性継続性を見通した経営に努めます 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. 研修に積極的に参加するなど経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 4. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し利用者の尊厳を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取組みを行います 7. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 8. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化、効率化を図り、全職員に周知・教育し運用します 9. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するように努めます 10. 職員に対してコストの意識を醸成するための取組みを行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取組み ・ 地域の安全・安心への取組み ・ 地域を活性化する取組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 民生委員との情報共有の場を設け、地域のニーズを把握します 3. 地域共生社会の実現を主導する事が社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取り組みます 4. 地域における公益的取組みを整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 5. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 6. 地域をまわり、危険個所の把握や立地条件等を確認します 7. 災害時、備蓄の提供ができるよう準備していきます 8. 地域のお祭り・敬老会等に参加し交流を深めます 9. 地域のゴミ拾いを年長児と職員が一緒に行い地域の方と挨拶を交わすことにより交流に繋がります (また、職員だけの地域清掃活動にも取り組みます)
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していく為の組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取組みを行います 2. ハラスメント関係規定を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口担当の教育を行いながら防止策を講じます 3. ワークライフバランスに配慮した取組みを行います 4. 休憩時間がとれるように話し合い実践できるよう取り組みます 5. 毎日のラジオ体操を推奨し腰痛防止に取り組みます 6. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 7. 目指すリーダー像を明確に示し育成します 8. 主任・副主任が連携し次に続く職員と役割の確認をしていきます 9. 業務効率化の為環境整備 (ICT等の活用) を図ります 10. ICT化への取組みで苦手な職員への勉強会を行いみんなが効率よく作業できるよう取り組みます 11. 業務内容の見直しを行い無駄をなくし効率化を図ります

行事予定

月	富吉保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式、春のミニ運動会	4月	
5月	保育参加日、春の遠足・動物園へ行こう(3・4・5歳児)、芋の苗植え	5月	
6月	交通安全教室	6月	田植え(地域交流)
7月	プール開き、夏祭り	7月	小学校の話を聞こう(1年生交流) 高岡ケアハウスシャトル慰問(5歳児)
8月	プール納め	8月	
9月	総合防災訓練 お月見クッキング	9月	富吉地区敬老会参加(5歳児)
10月	ふれあい運動会、芋掘り	10月	稲刈り(地域交流)
11月	秋の遠足(3.4歳児…綾馬事公苑 5歳児…みかん狩り) 七五三詣り(富吉神社)	11月	生目小学校の祭り参加(5歳児)・生目地区文化祭参加(5歳児)
12月	楽しい発表会、キッズキッチン(5歳児)、大淀川学習館(5歳児)、クリスマス会	12月	もちつき大会(祖父母交流)
1月	保育参観週間	1月	
2月	豆まき、コスモランド教室(4歳児)、記念撮影、ソフトバンクを見に行こう	2月	豆まき交流(祖父母交流)
3月	ひなまつり会、お別れ会、卒園・修了式	3月	年長児思い出の旅(生目地区一回り)
月例	お誕生会、防災訓練、お弁当の日、身体計測、えいごであそぼう(4・5歳児)…月2回 和太鼓(5歳児)…月2回 体育遊び(3・4・5歳児)…月2回、スイミング(4・5歳児希望者)…月2回 お絵かき・製作の日(2・3・4・5歳児)…月1回	月例	園庭開放…金曜日(月2回)
随時	園外保育、クッキング教室、健康診断(年2回)、歯牙検診(年1回)、尿検査(年1回) 文字のおけいこ(5歳児…3ヵ月)、絵本の貸出、食育活動(野菜づくり) エコチャレンジ活動、消防点検・衛生害虫駆除	随時	ボランティア・実習生受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会・リーダー会、給食検討会、腸内菌検査、遊具安全点検
随時	職員健康診断、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、園内研修参加、各種研修参加、職員旅行、職員健康診断、職員親睦会 地区祭り文化祭打合せ会参加、地域ゴミ拾いボランティア、個人面談

利用定員 55 人 内訳 2号定員(3～5歳) 35 人 3号定員(1.2歳) 15 人 3号定員(0歳) 5 人

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育事業(自主) ・一時保育事業 ・障がい児保育事業 ・育児相談 ・学童保育事業(自主)

施設整備 ・園内外各所修繕補修 ・ワックスかけ ・エアコン分解洗浄 ・パソコン購入

＜ 住吉南保育園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国や地域の将来性を考慮し、法人としてのミッションとビジョンに基づいて事業の将来性継続性を見通した経営に努めます 2. BCPに基づく訓練を行い、災害が引き起こす現象を想定し課題を明確にして見直します 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知教育し運用します 4. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め社会的ルールの遵守の重要性を普及・啓発を行います 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取組みを行います 7. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 8. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます 9. 職員に対してコストの意識を醸成するための取組みを行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取組み ・ 地域の安全・安心への取組み ・ 地域を活性化する取組み ・ 地域から信頼される情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内でセーフティネットについて、周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 地域共有社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取組みます 3. 地域における公益的取組み等を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 4. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 5. 地域のゴミ拾いや清掃を行いながら、危険個所に気づき地域と連携を図ります 6. 園庭開放をして、同年齢の子どもたちとの交流や子育て中の保護者のリフレッシュの場を作ります 7. 保育実習・小中学校の職場体験等の受け入れ機会を充実させ、保育士の仕事の魅力を発信していきます 8. 地域回覧の園だよりでも地域に活動をお知らせします
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け関連する取組みを行います 2. 風通しの良い職場での人間関係の構築、維持に努めます 3. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるよう取組みます 4. ハラスメント関係規程を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口関係者の教育を行いながら防止策を講じます 5. ワークバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取組みを行います 6. 休憩時間を共通理解のもとで有効に使えるよう職員間で工夫します 7. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 8. 様々な能力を生かせる職場づくりに取組みます 9. 目指すリーダー像を明確に示し育成します 10. 管理職や指導的職員のリーダー層を重視し育成に取り組めます 11. 業務効率化のための環境整備(ICT等の活用)を図ります 12. NO残業を目指し、職員間で協力しながら働きやすい環境づくりに努めます

行事予定

月	住吉南保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級おめでとう親子遠足、花見ランチ・野菜の種まき、園児健康診断(未満児)	4月	
5月	花しょうぶ遠足、園児健康診断(以上児)、保護者面談(全世帯)	5月	
6月	歯牙健診、保育参観月間、プール掃除	6月	住吉地区米穂夢(田植え)
7月	プール開き、プラム狩り、みなみまつり	7月	みなみまつり(1年生交流)
8月	広原児童プール、プール納め	8月	
9月	みなみっこ運動会、お月見クッキング	9月	
10月	祖父母交流・マーチング披露(5歳児)、秋の収穫遠足、芋ほり交流、七五三参り、交通安全教室、自衛消防訓練(通報訓練)	10月	祖父母交流(マーチング披露)・芋ほり交流(すみよし)・井上病院交流ニ運動会 県民一斉シェイクアウト訓練、お仕事ご苦労様訪問(九州保安協会・派出所)
11月	キッズキッチン、園児健診(以上児・未満児)	11月	住吉地区文化祭参加・住吉地区米穂夢収穫祭
12月	みんなえがお発表会、科学技術館、お餅つき、クリスマス会	12月	もちつき交流(九州保安協会)・くつろぎサロンみなみ(保護者交流)
1月	保育参観月間	1月	海幸・山幸の旅(姉妹園交流)
2月	豆まき、春待ちウォーキング	2月	小学校訪問(1年生との交流)
3月	ひなまつり会、みんな友だち交流会、花見遠足、お別れパーティー、卒園式、修了式 自衛消防訓練(津波訓練)、就学前交通安全指導	3月	
月例	誕生会、身体測定、防災・防犯訓練、弁当の日、スイミング(4、5歳児) 英語であそぼう・おうたの広場(3、4、5歳児)、スポーツ教室(2、3、4、5歳児) 硬筆(5歳児・1～2月)	月例	おひさまひろば(子育て支援)第2・第4木曜日 園だより回覧 お誕生日訪問
随時	園外保育、クッキング、絵本貸出、歯牙検診、健康診断(年2回)、パンアカデミー フッ化物洗口(4・5歳児)、尿検査、高齢者誕生訪問、園児美化活動	随時	朝のラジオ体操、ボランティア・実習生受入れ、保護者交流(年間3回予定)

職員に関する事項

月例	職員会(リーダー会・チーム会)、職員腸内菌検査、安全点検、園内研修、
随時	園内外研修参加、法人内外研修会参加、研修報告、法人内イベント参加、環境美化清掃、ゴミ拾いウォーキング、職員健康診断、職員旅行、全館お掃除デー

利用定員 100 人 内訳 2号定員(3～5歳) 71 人 3号定員(1.2歳) 26 人 3号定員(0歳) 3 人

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育 ・一時預かり保育 ・障がい児保育 ・育児相談 ・学童保育

施設整備 ・柱緩衝材設置 ・園内1階FLED工事 ・高圧ケーブル、高圧カットアウトスイッチ更新業務 ・室内外補修工事

＜ 児童養護施設 みんなせいかん ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人としてのミッションとビジョンに基づいて事業の将来性・継続性を見通した経営に努めます 2. 災害が引き起こす現象を想定した、BCPに基づく訓練を行い、課題等を明確にして見直しを行います 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育します 4. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め社会的ルールの遵守の重要性を普及・啓発を行います 5. 倫理綱領・行動規範を年2回、全職員と共有・周知・徹底する場を設け利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 虐待防止の手引き(チェックリスト)等の活用により、職員自身の支援について振り返る機会を設け早期発見対応に努めます 7. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用に関する必要な知識を有するように努めます 8. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 9. 福祉サービスの質の向上のため、リスクマネジメント体制を構築する等、組織的に取り組みます 10. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います
地域に根ざす施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域の多様なニーズを把握できる体制整備 ・ 地域との密接な関係と福祉に対する理解促進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. みやぎ安心セーフティーネット事業について周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. CSWを中心に各機関と連携しながら相談と支援を実施します 3. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取り組みます 4. 地域における公益的な取り組み等を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 5. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 6. 子ども110番として、地域の安全に努めます 7. 関係機関と連携しながら、地域福祉のニーズ把握・対応をしていきます 8. ママカフェや子育てサロン等、地域住民が集まり交流する場を提供します 9. 広報誌を地域に配布し、施設に対する理解を促進します 10. 地域と触れ合う事のできる行事等を年2回実施します
組織力のある施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取り組みを行います 2. 実習生やボランティアの受け入れを積極的に行います 3. 毎日、ラジオ体操を実施するとともに、定期的に会議等を通してメンタルヘルスや腰痛防止等の講習を取り入れます 4. ハラスメント関係規定を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 5. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 6. 採用3年未満(とくに1年未満)の職員に対するフォローアップを意図的・計画的に行っていきます 7. キャリアアップを明確にし、職員一人ひとりが自己分析できフィードバックを受ける取り組みを行います 8. 管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視し、育成に取り組みます 9. 業務アンケートを年2回実施する事で課題を明確にし、職員全体で話し合う場を設けて、業務の効率化を図ります 10. 業務効率化のための環境整備(ICT等の活用)を図ります

行事予定

月	児童養護施設 みんなせいかん	地域小規模児童養護施設 みらいえ	月	地域行事等
4月	入園・入学おめでとう会	おめでとう会	4月	前浜自治会総会 前浜さくらまつり
5月	子どもの日全体レクリエーション	子どもの日レクリエーション	5月	地域防災訓練
6月	総合防災訓練、幼児健康診断	総合防災訓練	6月	市民一斉清掃
7月	七夕	七夕・夏祭り	7月	海の日イベント
8月	ふれあい家庭事業、一時帰省、サマーメモリー	サマーメモリー	8月	
9月	十五夜、先輩に学ぶ	キャンプ	9月	地域防災訓練、敬老会
10月	秋休みレクリエーション(旅行)、児童健康診断	秋の収穫祭	10月	健康福祉まつり
11月	総合防災訓練、七五三、みんなせいかんフェスタ(地域交流)	総合防災訓練	11月	地域4施設合同防災訓練
12月	クリスマス会、大掃除、ふれあい家庭事業、一時帰省、餅つき	クリスマス会・餅つき・大掃除	12月	
1月	初詣、ウインターメモリー、自立訓練プログラム(～3月)	ウインターメモリー	1月	
2月	節分豆まき	節分・バレンタインデー	2月	
3月	ひなまつり、送る会	ひな祭り、送る会	3月	憶地区福祉まつり
月例	防災訓練、発育測定、調理実習、児童会、生きるカプログラム、和太鼓、安全教育、心理療法、個別対応		月例	ボランティア活動(地域清掃)、 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校行事
随時	食育活動(野菜作り等)、担当レクリエーション、嗜好調査、ボランティア招待レクリエーション、誕生会		随時	子ども育成会行事、憶地区地域まちづくり推進委員会行事 憶地区社会福祉協議会会議、ボランティア・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議・調和会、献立作成会議、ケース研究、腸内菌検査、小グループ会議、施設内外安全点検
随時	小学生教育支援委員会、宮崎県児童福祉施設協議会会議・専門委員会

定 員 30人 (本体施設25名 地域小規模みらいえ5名)

事業について ・宮崎市子育て短期支援事業 ・みやざき安心セーフティネット事業(生計困難者に対する相談支援事業)

施設整備 ・施設内外各所修繕補修 ・大型電気式乾燥機 ・大型全自動水洗機

＜ 救護施設 す み よ し ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国や地域の将来を考慮し、社会福祉法人としてのミッションとビジョンに基づいて事業の将来性・継続性を見通した経営に務めます 2. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 3. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 4. 研修に積極的に参加するなど経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 5. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 6. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルールの遵守の重要性を普及・啓発を行います 7. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 8. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 9. 虐待、身体拘束などを決して容認せず、根絶するための取り組みを行います 10. ソーシャルネットワークサービス(SNS)等の普及を踏まえ、職員に対し適切な情報管理・情報発信についての教育を行います 11. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 12. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化・共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 13. 福祉サービス提供における事故やミスの未然防止、再発防止に取り組みます 14. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準等に関する必要な知識を有するよう努めます 15. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 16. 適切な収益性の確保に向け、将来を見通した計画的かつ効率的な事業運営を行います
地域に根ざす施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. セーフティネットとしての役割りを果たすために、関係機関や他法人との連携を推進し情報収集に努めます 3. 子どもの生活支援等に取り組みます 4. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割りであることを認識できるよう取り組みます 5. 地域における公益的取り組み等を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 6. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 7. 災害時の取り組みとして、地域の災害支援拠点や福祉避難所の取り組みへの備え等、地域住民の安全・安心な生活の確保に努めます 8. 防災士の取得を奨励します
組織力のある施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取り組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 3. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるよう取り組みます 4. 採用(転入)後1年未満の職員に対するフォローアップを意図的、計画的に行います 5. ハラスメント関係規程を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 6. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います 7. 労働災害防止策(メンタルヘルス、腰痛防止策、その他労働災害への対応)を講じます 8. 上司に相談しやすい雰囲気をつくることでハラスメントの早期発見・早期解決に繋がります 9. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 10. 様々な能力を生かせる職場づくりに取り組みます 11. 資格取得、その他、自己学習のために支援の仕組みを構築します 12. 目指すリーダー像を明確に示し育成します

	13. 管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視し、育成に取り組みます 14. 施設長・課長・係長間の情報共有やコミュニケーションを密に図り、相互の職責や立場等を確認・理解し合うことで組織力の向上を図ります 15. 業務効率化のための環境整備 (ICT等の活用)を図ります 16. 生産性向上を図るための課題認識を職員と共有し、取り組みを行います
--	---

行事予定

月	救護施設 すみよし 行 事	月	地 域 行 事 等
4月		4月	
5月	施設外レクリエーション	5月	
6月	ハイキング(市民の森)	6月	
7月	慰霊祭	7月	住吉神社子ども神輿受け入れ
8月	なんでも相談	8月	北部地区盆踊り
9月	敬老祝賀会、幼稚園慰問受け入れ	9月	
10月		10月	住吉福祉まつり
11月	地域交流会、秋祭り	11月	
12月	クリスマス会	12月	
1月	初詣、安全祈願祭	1月	
2月	なんでも相談	2月	住吉神社大祭
3月	花見	3月	
月例	レク活動、防災訓練、自治会	月例	
随時	法要、健康診断、保育園合同芋掘り、施設内映画鑑賞、各種クラブ活動、フラワーアレンジメント 給食リクエストメニュー、テイクアウト食事、茶話会、実習生・ボランティア受け入れ	随時	保育園行事参加(餅つき・節分豆まき)、利用者就労先の各種行事参加

職員に関する事項

月例	職員会議、災害対策委員会、リスクマネジメント委員会、権利を守る委員会、行事企画委員会、栄養士会議、看護師会議、腸内細菌検査、ノー残業デー実施
随時	感染対策委員会、入所判定委員会、ハラスメント防止委員会、OJT委員会、業務改善委員会、ケース検討会議、ハラスメントセルフチェック、職員ストレスチェック 自己評価、リスクマネジメントセルフチェック、権利を守るセルフチェック、法人内外研修、OJT研修、新任研修、研修報告、合同防災訓練(シェイクアウト訓練)、AED講習 防犯講習、健康診断、職員旅行、広報誌発行、法人内各種委員会・担当者打合せ会、全・九救協会等参加、法人内イベント参加

定 員 82 名

事業について

- ・一時入所事業 … 生活困窮者等に対して緊急一時保護等を行います
- ・居宅生活訓練事業 … 訓練用住居を利用し、より地域生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行うことで、地域生活への移行を支援します
- ・みやざき安心セーフティネット事業 … 宮崎県社会福祉協議会等と連携し、生活困窮者等に対して相談支援や経済的援助を行うことで自立を支援します
- ・生活困窮者就労訓練事業 … 宮崎市自立相談支援センターと連携し、就労経験の少ない方や柔軟な働き方が必要な方に対して作業体験の場を提供することで一般就労に繋がります
- ・居宅訪問事業 … 施設退所者や生活保護脱却後の人等へのフォローアップを行います

施設整備

- ・ろ過装置用給湯設備設置工事
- ・エレベーター改修
- ・火災通報装置取替え
- ・電話設備更新工事